

mitoco Buddy

mitoco Buddy 2026.09.15 リリースノート

リリース日:2026 年 9 月 15 日



目次

はじめに	3
1 リリース内容	4
1.1 Azure Files MCP の機能拡張	4
1.2 Filesystem MCP のバイナリファイル対応	5
1.3 Web アプリの外部データ動的連携	6
1.4 添付ファイル内の画像・図表分析	7
1.5 SharePoint MCP の読み取り専用モードと制御機能	9
1.6 SharePoint 連携 Knowledge のファイル名同期	9
1.7 [ワークフロー] メニューの新設	10
1.8 クレジット増額のワークフロー申請	11
1.9 最新 AI モデルへの対応	12
1.10 画像生成モデルのアップグレード	12
1.11 [管理者] クレジット利用履歴のアプリ別フィルター機能	12
1.12 [管理者] クレジット利用履歴の詳細利用量表示の改善	13
1.13 [管理者] 内部 LLM の日本リージョン対応	14
1.14 カスタム MCP の再認証に関する修正	15
1.15 Lingo の機能改善、修正	15
1.15.1 【Beta】音声ファイルアップロード文字起こし	15
1.15.2 組織内での会議共有	16
1.15.3 【Beta】フィリピン語(Filipino)対応	17
1.15.4 [管理者] キーワードのインポート/エクスポート機能	17
1.15.5 リアルタイム通訳のユーザー体験改善	17
1.15.6 会議一覧 UI の改善	18
1.15.7 Lingo AI 回答のコピー	19
1.15.8 カレンダー参加設定の改善	19
1.15.9 リモート会議 Bot 名の改善	19
1.15.10 キーワード変更を進行中の会議へ即時反映	20
1.16 NotePie の機能改善	20
1.16.1 NotePie のアイコン変更	20
1.16.2 NotePie のスライド作成機能の改善	20
1.16.3 画像生成エンジンのアップデート	20
2 お問い合わせ先	21
3 免責事項	22

はじめに

本リリースノートでは、mitoco Buddy の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能および機能強化には、既存の環境に影響を与える可能性があります。より詳細な情報については、リリース時に公開予定のヘルプサイトをご参照ください。

ヘルプサイト：<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

■ 概要

2026.09.15 アップデートでは、以下の機能を強化または追加しています。詳細については、ハイパーリンクをクリックしてください。

- ・ [Azure Files MCP の機能拡張](#)
- ・ [Filesystem MCP のバイナリファイル対応](#)
- ・ [Web アプリの外部データ動的連携](#)
- ・ [添付ファイル内の画像・図表分析](#)
- ・ [SharePoint MCP の読み取り専用モードと制御機能](#)
- ・ [SharePoint 連携 Knowledge のファイル名同期](#)
- ・ [\[ワークフロー\] メニューの新設](#)
- ・ [クレジット増額のワークフロー申請](#)
- ・ [最新 AI モデルへの対応](#)
- ・ [画像生成モデルのアップグレード](#)
- ・ [\[管理者\] クレジット利用履歴のアプリ別フィルター機能](#)
- ・ [\[管理者\] クレジット利用履歴の詳細利用量表示の改善](#)
- ・ [\[管理者\] 内部 LLM の日本リージョン対応](#)
- ・ [カスタム MCP の再認証に関する修正](#)
- ・ [Lingo の機能改善、修正](#)
- ・ [NotePie の機能改善](#)

1 リリース内容

1.1 Azure Files MCP の機能拡張

Azure Files MCP において、新しく「replace_file(ファイルの置き換え)」および「rename_item(ファイル名の変更)」のツールをご利用いただけます。

■ 何ができるようになるのか

MCP 経由で直接ファイルの更新や名称変更が可能になります。外部システムから手動でファイルをアップロードし直す手間が省け、ファイル管理が効率化されます。

execute_tool

```
{
  "aip_tool_call_purpose": "Azure Filesのファイルを指定された名前に変更しています。",
  "arguments": {
    "source_path": "test/Test.txt",
    "share_name": "test",
    "destination_path": "test/名前変更.txt"
  },
  "name": "azure_files_rename_item"
}
```

結果

```
{
  "ok": true,
  "isError": false,
  "content": [
    {
      "type": "text",
      "text": "{\"shareName\":\"test\", \"sourcePath\":\"test/Test.txt\", \"destinationPath\":\"test/名前変更.txt\", \"type\":\"FILE\"}"
    }
  ],
  "_meta": {
    "aip.integration.id": "azure-files",
    "aip.installation.id": "01a084e5-f9bf-7da4-b1d7-a7be5f2bf531",
    "aip.integration.name": "Azure Files",
    "aip.integration.tool.name": "rename_item"
  }
}
```

Azure Filesの「test」共有内にある「test」ディレクトリの「Test.txt」ファイルの名前を「名前変更.txt」に変更しました。

execute_tool

```
{
  "aip_tool_call_purpose": "Azure Files の \"test\" 共有内にある \"test/名前変更.txt\" ファイルを、添付されたファイルの内容で置換しています。",
  "name": "azure_files_replace_file",
  "arguments": {
    "path": "test/名前変更.txt",
    "share_name": "test",
    "source_uri": "aip-chat://b171ee2b-6349-4308-8a0d-a857082b769f"
  }
}
```

結果

```
{
  "ok": true,
  "isError": false,
  "content": [
    {
      "type": "text",
      "text": "{ \"shareName\": \"test\", \"path\": \"test/名前変更.txt\", \"fileName\": \"名前変更.txt\", \"sizeBytes\": 111381, \"contentType\": \"text/plain\" }"
    }
  ],
  "_meta": {
    "aip.integration.id": "azure-files",
    "aip.installation.id": "01a084e5-f9bf-7da4-b1d7-a7be5f2bf531",
    "aip.integration.name": "Azure Files",
    "aip.integration.tool.name": "replace_file"
  }
}
```

「test」共有内の「test」ディレクトリにある「名前変更.txt」ファイルは、添付されたファイルの内容で更新されました。

1.2 Filesystem MCP のバイナリファイル対応

Filesystem MCP において、バイナリファイル(画像ファイルや音声ファイルなど)の読み取りと転送に対応しました。

■ 何ができるようになるのか

従来のテキストファイルに加えて、お使いの PC にあるバイナリファイル(PDF や PowerPoint など)の読み取りに対応しました。これにより、エージェントがローカルの各種ファイルを直接読み取って処理できます。

■ メリット

- 変換の手間を削減:

ローカルにあるドキュメントを事前にテキストへ変換したりチャットに添付したりする必要がなく、資料をそのまま読み込んで分析できます。

- 業務の効率化:

ローカルファイルを活用した業務を、よりスムーズに進めることができます。

① 補足

- Filesystem MCP の利用時は対象となるローカル環境からの Edge Tunnel での接続が必要となります。

1.3 Web アプリの外部データ動的連携

外部データソースと連携し、ユーザーが入力・変更したデータを保持できる動的な Web アプリを作成できるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

従来の静的な Web ページとは異なり、「チームで利用できるタスク管理アプリ」や「Salesforce の商談データを取得した売上ダッシュボード」などのデータを動的に更新できます。作成した Web アプリは、非公開、組織内公開、一般公開から公開範囲を選択でき、後から対話を通じて構成を修正することも可能です。

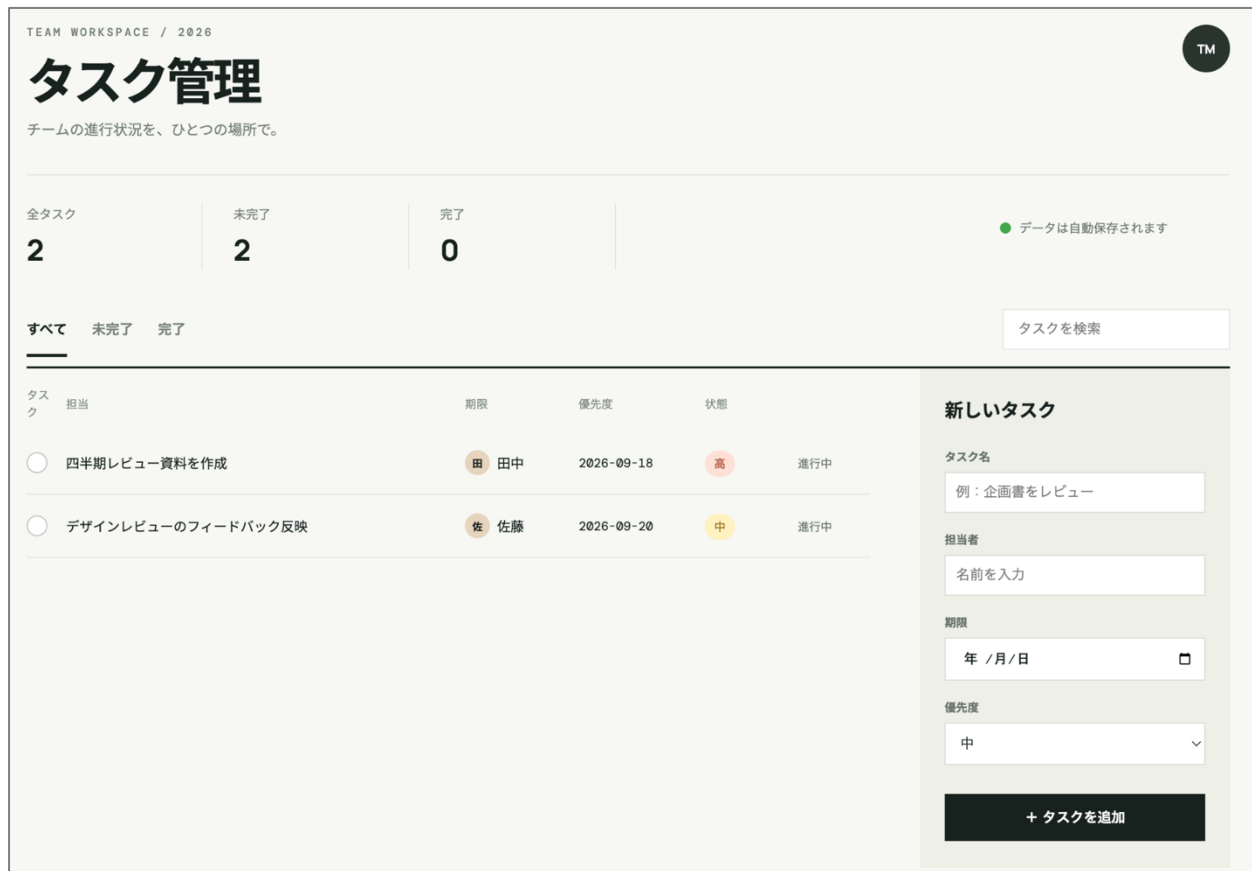
■ 自動更新による運用メリット

自動化の時間ベーストリガー(朝・昼・夜など)と連携させることで、Web アプリを都度再作成・再公開することなく、指定した時刻に Salesforce などの外部システムから最新データを自動取得して反映できます。

※毎日データを更新するレポート Web アプリケーション



※チームでタスク管理する Web アプリケーション



1.4 添付ファイル内の画像・図表分析

チャットなどの添付ファイルに含まれる画像、グラフ、図版のデータを確認・分析できるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

添付された PDF ファイルに含まれる画像、グラフ、図などを AI が自動で分析します。
マニュアルのシステム構成図やスライド資料のグラフなど、視覚的な情報を正確に理解し、内容に基づいた回答を提示します。

■ メリット

- 作業の手間を削減:
手作業で文字起こしや画像抽出をする必要がなく、資料をそのまま添付して質問できます。
- 情報把握のスピードアップ:
複雑な資料からの情報把握や分析を、よりスピーディーに進めることができます。



mitoco Buddy.pdf
Document

この製品はどのアプリケーションやデータ基盤に接続できますか？ 具体的な例を資料から読み取って教えて。

午後 10:45

添付されたPDFファイルの内容を確認するため、doc-handlingスキルのドキュメントを読み込みます

PDFファイルからテキストを抽出するため、ファイルをサンドボックスにアップロードします

mitoco Buddy とは

マルチLLMを利用しながら、複数のMCPと繋げる **mitoco Buddy**



↓ 画像をダウンロード

提供された資料（「mitoco Buddy とは」）によると、**mitoco Buddy** はMCP（Model Context Protocol）接続を通じて **70種類以上の豊富な接続先** に対応しており、標準MCPに加えて独自の接続も可能です。

資料内に具体例として示されているアプリケーション、データ基盤、および連携機能は以下のとおりです。

連携可能な接続先・データ基盤の具体例

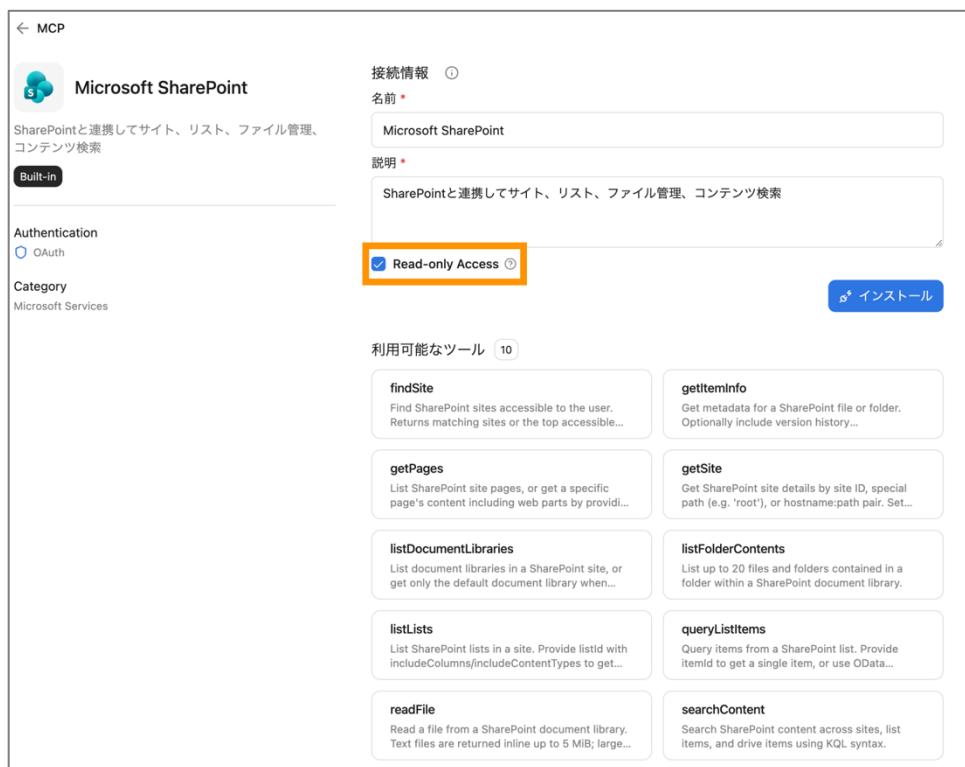
カテゴリ	接続先・サービス例
Salesforce	Salesforce Agentforce / Data 360
アプリケーション (SaaS / コラボレーション)	Google Workspace (スプレッドシート / スライド / ドライブ / カレンダー / Gmail) / Slack / Notion /
データ基盤 (クラウド / データウェアハウス)	AWS (Amazon Web Services) / Microsoft Azure / Google Cloud (GCP) / Snowflake / Data

1.5 SharePoint MCP の読み取り専用モードと制御機能

SharePoint MCP において、「読み取り専用 OAuth モード」と「ツール公開制御」をご利用いただけます。

■ 何ができるようになるのか

データを読み取るだけの権限に制限することで、意図しないファイルの変更や削除を未然に防ぐことができます。また、公開するツールを制御できるため、より安全でセキュアな連携運用が可能になります。



1.6 SharePoint 連携 Knowledge のファイル名同期

SharePoint と連携している Knowledge において、SharePoint 側で元ファイルの名前を変更した際、Knowledge 側にも正確に同期されるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

ファイル名の変更を手動で合わせる必要がなくなり、リンク切れや「古いファイル名のままで見つからない」といったユーザーの混乱を防ぎます。

← ナレッジ

sharepoint

説明がありません。

バンドルステータス

INDEXED

オーバーラップ

20%

チャンクサイズ

500

ナレッジソース

名前	タイプ	追加者	追加日時	インデックス
credit-flows.csv	SharePoint		2026/09/09 12:52:24	✓ Indexed ...
devin_usage_history.csv	SharePoint		2026/09/09 12:52:26	✓ Indexed ...
mitoco_Buddy_ReleaseNote_Ver.20260714.pdf	SharePoint		2026/09/09 12:52:27	✓ Indexed ...
ソース変更あり 更新				
名前変更.pdf	SharePoint		2026/09/09 12:52:28	✓ Indexed ...

1 - 4 of 4

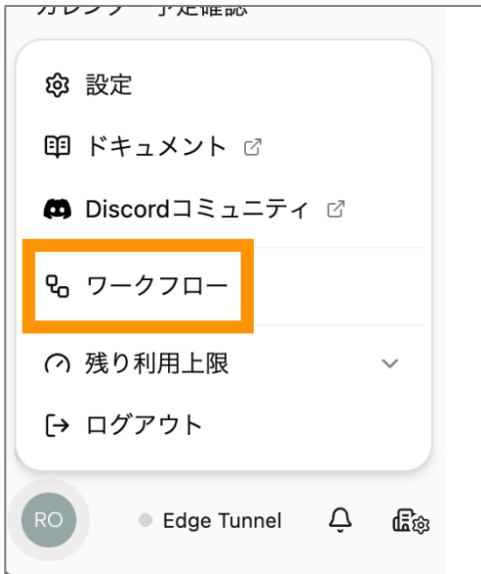
< 1 >

1.7 [ワークフロー] メニューの新設

ユーザーの画面左下にある [アバター] アイコンから、新設された [ワークフロー] メニューを開くことができます。従来は [管理者] メニューにあった承認ワークフローが、本メニューに統合されました。

■ 何ができるようになるのか

各種権限の申請、承認作業、処理履歴の確認が、すべて 1 つのメニュー内で完結します。
わざわざ管理画面に移動する手間が省け、日々の確認作業がスムーズに行えます。



1.8 クレジット増額のワークフロー申請

[ワークフロー] メニューから、クレジット上限の増額申請と承認作業を行えるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

ユーザーは利用枠が上限を超えた際に画面上から素早く増額を申請でき、管理者は同メニューから内容を確認してすぐに承認または却下できます。

申請から承認までのやり取りがシステム内で完結するため、業務を止めることなくスムーズな利用継続が可能になります。上限が設定されていないと申請できません。

承認されると、上限の値が反映されます。

← ワークフロー

📄 リクエストを申請

新規ワークフローリクエスト

リクエストタイプを選択し、フォームを入力して申請します。

リクエストタイプ

クレジット上限の増額

適用期間	現在の上限	現在の使用量
1日	1,000.00	0.00

変更後の合計上限

1500

申請理由

もう少し上限を増やしてほしいです。

1.9 最新 AI モデルへの対応

より高度な思考と自然な対話を実現するため、最新の AI モデルに対応しました。
用途に応じてモデルを切り替えてご利用いただけます。

新対応モデル:

- ・ GPT-6 Astra
- ・ GPT-5.6-sol-bedrock
- ・ GPT-5.6-terra-bedrock
- ・ GPT-5.6-luna-bedrock
- ・ Claude Opus 5
- ・ Claude Fable 5.1
- ・ Gemini-2.5-Flash-jp
- ・ Gemini-3.5-Flash-jp
- ・ Gemini 3.7 Flash
- ・ Gemini 3.8 Flash

重要

- モデルを利用するには、管理者設定の LLM モデルから有効化する必要があります。

1.10 画像生成モデルのアップグレード

内部の画像生成モデルを GPT Image 2 から GPT Image 2.5 Sunburst へアップグレードしました。

このモデルはユーザーが直接選択するものではありません。以下の機能で画像を生成する際に自動的に使用します。

- チャットでの画像生成
- エージェントアイコンの生成

設定を変更することなく、アップグレードされた画像生成モデルが自動的に適用されます。

1.11 【管理者】クレジット利用履歴のアプリ別フィルター機能

クレジット利用履歴画面において、アプリ種別ごとに利用履歴を絞り込むフィルター機能を追加しました。

■ 何ができるようになるのか

クレジット履歴画面の[フィルター]から確認したいアプリ種別を選択することで、指定したアプリの利用履歴のみを一覧に絞り込んで表示できます。

■ 選択できるアプリ種別の例

- ・ 一般チャット
- ・ エージェントチャット
- ・ オートメーション
- ・ アプリ(「Lingo」「NotePie」など)

■ メリット

- ・ **クレジット消費の特定が容易に:**
アプリや機能ごとの消費量をすばやく確認できます。
- ・ **分析・管理の効率化:**
必要なデータのみを抽出できるため、利用状況の分析や管理がスムーズに行えます。

クレジット履歴

組織のクレジット利用状況を表示します。

ユーザー

すべての取引

エージェントチャット

2026/8/11 - 2026/9/9

リセット

CSVをダウンロード

日付	ユーザー	イベントタイプ	クレジットタイプ	クレジット	最終差引き後残高	控除理由
> 2026/09/09 15:11:41	[REDACTED].co.jp	使用	イベント (有料)	-2.98	29,544.08	エージェントチャット 6
> 2026/08/20 14:37:40	[REDACTED].co.jp	使用	イベント (有料)	-2.26	29,556.54	エージェントチャット 4

1 - 2 of 2

<

1

>

1 - 2 of 2

< 1 >

1.12 [管理者] クレジット利用履歴の詳細利用量表示の改善

詳細テーブルに表示される利用量が、アプリの種別に応じてより正確な数値で表示されるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

従来のテキストトークン(入力/出力/キャッシュ)の表示に加えて、実際の利用量が表示されます。音声入力トークンや利用時間など、アプリケーションの課金タイプに応じた詳細を確認できます。

■ メリット

・ 正確な内訳の確認:

Lingo や NotePie など、トークン以外の基準でクレジットが消費されるアプリケーションについても、利用量の内訳を正確に確認できます。

2026/09/09 15:11:41	co.jp	使用	イベント (有料)	-2.98	29,544.08	エージェントチャット 6
詳細クレジット使用						
ソースタイプ 組織エージェント		ソース名 ナレッジサンプル_mitocoBuddyエージェント				
発生時刻	利用内容	モデル	使用量	クレジット		
2026/09/09 15:11:28	メッセージ索引付け	text-embedding-3-small	入力 11 / キャッシュ 0 / 出力 0	-26 micro		
2026/09/09 15:11:29	チャット応答	claude-4.5-haiku	入力 6,037 / キャッシュ 0 / 出力 231	-0.86		
2026/09/09 15:11:39	チャット応答	claude-4.5-haiku	入力 11,814 / キャッシュ 0 / 出力 757	-1.87		
2026/09/09 15:11:40	メッセージ索引付け	text-embedding-3-small	入力 800 / キャッシュ 0 / 出力 0	-1.92 milli		
2026/09/09 15:11:40	メッセージ索引付け	text-embedding-3-small	入力 296 / キャッシュ 0 / 出力 0	-710 micro		
2026/09/09 15:11:41	タイトル生成	claude-4.5-haiku-jp	入力 1,596 / キャッシュ 0 / 出力 43	-0.24		

2026/09/09 15:21:55	co.jp	使用	イベント (有料)	-0.78	29,543.30	Lingo
詳細クレジット使用						
ソースタイプ AIP Apps		ソース名 Lingo				
発生時刻	利用内容	モデル	使用量	クレジット		
2026/09/09 15:21:55	会議	-	55.98秒	-0.78		

1.13 [管理者] 内部 LLM の日本リージョン対応

内部呼び出し機能において、日本リージョンに限定して LLM を利用することができます。
[組織管理者]>[LLM モデル]>[リージョナル AI 処理]を有効にすることで利用できます。

■ 何ができるようになるのか

日本国内のサーバーでデータ処理が行われるため、応答速度の向上(レイテンシの低減)が期待できるほか、国内にデータを留めたいというセキュリティおよびコンプライアンス要件を満たした安全な運用が可能です。



i 補足

- 画像生成と画像編集は対応していません。

1.14 カスタム MCP の再認証に関する修正

カスタム MCP において、Client Secret を使用しない場合で、再認証が正しく行われずエラーになる問題を解消しました。

1.15 Lingo の機能改善、修正

1.15.1 【Beta】音声ファイルアップロード文字起こし

ICレコーダーやスマートフォンなどで録音した音声ファイルをアップロードし、文字起こしを生成できます。

■ 何ができるようになるのか

過去の録音データや、オフライン環境で記録したインタビュー音声なども Lingo 上でテキスト化でき、議事録作成の大幅な時短につながります。



**i 補足**

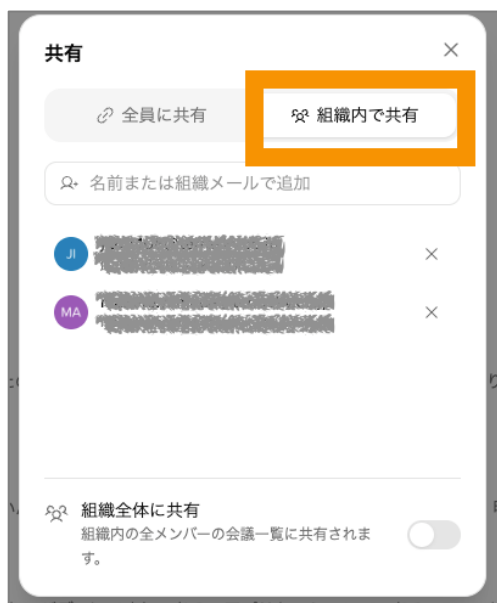
- 本機能は、Beta 版での提供となります。今後機能改善や仕様変更を行う可能性があります。

1.15.2 組織内での会議共有

会議の作成者は、実施した会議を組織全体、または特定のメンバーに共有できます。共有されたユーザーは、リアルタイムでの文字起こし、要約機能、AI アシスタントの利用が可能です。

■ 何ができるようになるのか

会議に参加できなかったメンバーにも即座に詳細な会議内容を共有できるため、チーム全体でのスムーズな情報連携が可能になります。



1.15.3 【Beta】フィリピン語(Filipino)対応

会議のリアルタイム文字起こしおよび翻訳の対応言語に、フィリピン語(Filipino)を追加しました。

① 補足

- 本機能は、Beta 版での提供となります。今後機能改善や仕様変更を行う可能性があります。

1.15.4 【管理者】キーワードのインポート/エクスポート機能

カスタムキーワードを CSV ファイル形式で一括インポート、またはエクスポートできます。

■ 何ができるようになるのか

業界の専門用語や社内用語を 1 つずつ手入力する手間が省けます。



1.15.5 リアルタイム通訳のユーザー体験改善

通訳結果の過去の会話が表示されるようになりました。以前の会話の文脈を遡って確認しやすくなりました。また、2 言語を自動検出する「双方向通訳モード」と、1 回のボタン操作で通訳状態を継続できる機能を追加しました。

■ 何ができるようになるのか

会話の前後関係を常に見渡せるため、議論の理解度が深まります。さらに、話者が変わるたびに手動で通訳ボタンを押し直す操作が不要になり、会話そのものに集中できます。

変更前	変更後
まず、佐藤さんから先週の報告をお願いします。 First, Mr. Sato, please provide last week's report.	9月のミーティングを行います。 We will hold the September meeting. まず、佐藤さんから先週の報告をお願いします。 First, Mr. Sato, please provide last week's report.

リアルタイム通訳の設定

通訳言語

あなたの言語

日本語

相手の言語

英語

言語検出方式

自分の言語のみ検出

2言語を自動検出

通訳音声

Puck

マイク

MacBook Proのマイク (Built-in)

マイクレベル — 何か話してみてください

完了

キャンセル

1.15.6 会議一覧 UI の改善

【会議一覧】画面において、より多くの情報をひと目で確認できるように表示レイアウトを改善しました。

■ 何ができるようになるのか

過去の会議や目的の議事録を探す際、詳細を開かなくても必要な情報に素早くアクセスできるようになり、検索の手間が軽減されます。

会議

終了した会議の会話、通訳記録、共有内容を確認します。

Q 会議を検索

📅 期間

≡ すべてのタイプ

👤 所有者

👤 選択

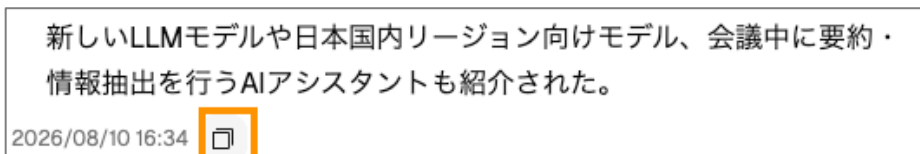
日時	会議	所有者
8月10日 (月) 15:59	mitoco Buddy 20260812リリース説明会	

1.15.7 Lingo AI 回答のコピー

Lingo AI が生成した回答をコピーできるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

チャットの回答を Word やメールに貼り付ける際、そのまま資料や報告書として再利用しやすくなります。



1.15.8 カレンダー参加設定の改善

カレンダー連携から会議に参加する際、前回最後に選択した「言語」と「リアルタイム通訳設定」をシステムが記憶し、自動で適用します。

■ 何ができるようになるのか

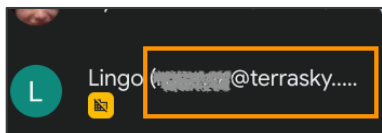
会議のたびに同じ設定をやり直す必要がなくなり、ワンクリックですぐに会議を始められます。

1.15.9 リモート会議 Bot 名の改善

Lingo の Bot 名に、会議に参加させた「ユーザー名」が表示されるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

同じ会議に複数の Bot が参加している場合でも、誰が呼んだ Bot かが明確になり、参加者の混乱を防ぐことができます。



1.15.10 キーワード変更を進行中の会議へ即時反映

カスタムキーワードを追加・変更した際、すでに進行している(開催中の)会議に対しても、その変更が即座に反映されるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

会議中に新しい専門用語や人名が登場した際、その場でキーワード登録すれば直後の会話から正確に文字起こしされるため、変換精度が飛躍的に向上します。

① 補足

- 本機能のみ 2026/09/19 より提供開始予定です。

1.16 NotePie の機能改善

1.16.1 NotePie のアイコン変更

NotePie 独自のアイデンティティを表現した、新しいデザインのロゴに変更されました。



1.16.2 NotePie のスライド作成機能の改善

NotePie でのスライド作成時に、スライドを 1 枚から指定して作成できるようになりました。

■ 何ができるようになるのか

入力した情報が 1 枚のスライドに要約・凝縮されて生成されます。長文を読ませるのではなく、要点だけをひと目で伝えたい場合に非常に便利です。

1.16.3 画像生成エンジンのアップデート

NotePie の画像生成機能において、基盤となるエンジンを最新バージョンにアップデートしました。

2 お問い合わせ先

ご不明点などがございましたら、以下よりお問い合わせください。

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

3 免責事項

本リリースノートは 2026 年 9 月 15 日現在のものです。本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます。

mitoco Buddy 利用規約については、[こちら](#)をご覧ください。

本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社までご連絡ください。



製品サポート

製品情報

<https://www.mitoco.net/mitocoBuddy>

製品ユーザーガイド

<https://doc.buddy.mitoco.net/ja/user-guide>

お問い合わせ窓口

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

mitoco Buddy 2026.09.15 リリースノート

リリース日： 2026 年 9 月 15 日